

中
一
二
三

月の影のさげで

たえ間よりしれ出づる

秋風にたなびく雲の

秋風に吹かれてたなびいている雲の切れ間から、もれでてくる
月の光は、なんと清らかで澄みきっていることであろう。
(百人一首 七九番 左京大夫顕輔)